

～多世代交流企画～

タブレット・スマホなどで交流する 新コミュニケーション研修

参加しました

高齢の先輩方を「お年寄り」と呼びたくない。「福」のある「老」人を略して“ふくろう”または叡智の象徴として呼称

6期生(2)グループ「むに友」では、「高齢者VS若者」という二元論ではなく、30～50代も含めた多世代で交流を図ろうという趣旨で、最近注目されている“タブレットやスマホ”を使った初心者向け研修を実施しました。(6月:各2H2回)

- (社)ふくろうの会メンバー(現役OL,ビジネスマンなど6人の講師)による研修は、わかりやすい基礎から、さわって操作する実践型研修でした。(無料)
- 好評だったのは、タブレット端末を使っての写真や動画の送受信実践。
- 本の置き場に困っている人には電子書籍(Kindle)の使い勝手(携帯性、リーズナブル)が人気でした。
- 自分の出来事(趣味や子ども・孫へのメッセージ)を伝えるスライドショーも興味を引かれました。
- 「フェイスブックやLINE(ライン)は少し不安なところがあるが、便利だね」とい声を多く聞きました。



もっと笑って..

うまく動画(写真と音声)送れたよ!

意外と簡単ですね。

どのぐらいで手に入るんですか?

◎ こうした研修を通じて「それぞれの世代で違う価値観や悩み・課題を抱えている」ということが少し理解でき、多世代交流がさらに促進すると嬉しいですね。

◎ 高齢者は知力・体力も低下してくるが、感情表現できる「会って話し合う」という基本は押さえながらも、新しいツールによる交流は脳の活性化にとっても必要ですよ。

(取材)
地域連携部
川上